

腰HALチーム 2023年度活動報告

医療法人 誠和会 倉敷記念病院 リハビリテーション部

腰HALチーム

石原佳子、水田泰博、川田稔、森本隆也

坂本さやか、藤原春華、横田暁雄、松井香

はじめに

- ▶ 当法人ではHAL®腰タイプ自立支援用（以下、腰HAL）を4台導入して運用中である。内訳は病院2台、通所リハ1台、介護老人保健施設（以下、老健）1台。
- ▶ 病院にて腰HALを使用した症例の治療結果について報告する。

対象と方法

- データ収集期間：2023年1月～2023年12月
- 対象：入院患者、外来患者で使用前後評価記録が回収できた15例
- 選定方法：リハビリテーション科医または担当療法士が腰H A L 適応と判断した症例
- 評価方法：目標別に評価項目を設定,初回と12回終了時に評価
 - 座位安定目標：Hoffer座位能力分類
 - 起立安定目標：フレイルCS-10¹⁾,FRT²⁾
 - 歩行安定目標：フレイルCS-10,FRT,TUG³⁾

¹⁾虚弱性高齢者用10秒椅子立ち上がりテスト

²⁾Functional Reach Test

³⁾Timed Up & Go Test

使用実績

施設	実施人数	平均年齢	平均実施期間	平均実施回数
病院(入院)	9 人	78.1歳	12.3日	7.9回
病院 (外来)	6 人	70.3歳	44.2日	8.2回
合計/平均	15人	75.0歳	31.3日	8.0回

治療効果

施設	Hoffer		CS- 1 0		FRT		TUG	
	開始時	終了時	開始時	終了時	開始時	終了時	開始時	終了時
病院 (入院)	1.4	1.0	2.4回	2.8回	15.38cm	16.87cm	29.53秒	26.71秒
病院 (外来)	1.0	1.0	3.7回	4.7回	23.50cm	26.36cm	11.6秒	8.7秒
平均	1.3	1.0	3.1回	3.6回	20.25cm	22.8cm	19.75秒	18.98秒

※改善が見られた項目を赤字で表記

使用実績（目標別）

目標	合計人数	平均年齢	平均実施期間	平均実施回数
座位安定	1人	37.0歳	11.0日	12.0回
起立安定	4人	84.8歳	8.3日	6.5回
立位歩行安定	15人	74.9歳	33.2日	8.2回
合計/平均	15人	75.0歳	31.3日	8.0回

治療効果（目標別）

目標	Hoffer		CS- 1 0		FRT		TUG	
	開始時	終了時	開始時	終了時	開始時	終了時	開始時	終了時
座位安定	2.0	1.0						
起立安定			3.0回	2.0回	12.50cm	13.60cm		
立位歩行安定			3.1回	3.8回	21.11cm	24.11cm	19.91秒	19.65秒

まとめ

- 腰HAL使用後は各評価項目において改善をみとめ、一定の治療効果を得ることができた。
- 今年度、腰HALの使用状況についてのチェックやスタッフへの声掛けが十分に行えず例年に比べてデータ回収率が低い結果となった。このことから腰HAL使用に関して、スタッフへの意識づけが継続して必要であることを示唆する。
- 腰HALがより有効に治療へ活用していけるよう、スタッフへの啓蒙活動が必要。チームとして腰HALの使用頻度が増加していくよう工夫を検討していきたい。